

# 輸血実態調査報告

## 6-1・2. ABO・RhD血液型検査

---

	日勤帯		夜間・日直帯		
	実施	未回答	実施	未実施	未回答
ABO血液型	62	6	60	2	6
RhD血液型	62	6	60	2	6
%	92.1	8.8	88.2	2.9	8.8

## 6-3. 不規則抗体スクリーニング

---

	施設数	%
実施	54	79.4
未実施	6	8.8
未回答	8	11.8

## 6-3-1・2. 不規則抗体検査の実施場所

---

	日勤帯	%	夜間・ 日直帯	%
実施	50	73.5	50	73.5
検査実施(外注)	4	5.9	3	4.4
未実施	14	20.6	15	22.1

6-3-3. 夜間・日直帯にて「自施設」で実施と回答した  
施設の方のみ（回答施設数50）  
検査を実施するのは

---

	施設数	%
夜間・日直者が実施	44	88.0
検体保管をして日勤帯で実施	4	8.0
その他	1	2.0
未回答	1	2.0

## 6-4. 不規則抗体同定検査

---

	施設数	%
実施	41	60.3
未実施	16	23.5
未回答	11	16.2

## 6-4-1・2. 不規則抗体同定検査の実施場所

	日勤帯	%	夜間・ 日直帯	%
実施	32	47.1	25	36.8
検査実施(外注)	9	13.2	9	13.2
未実施	0	0	7	10.3
未回答	27	39.7	27	39.7

6-4-3. 夜間・日直帯にて「自施設」で実施と回答した  
施設の方のみ（回答施設数25）  
検査を実施するのは

---

	施設数	%
夜間・日直者が実施	5	20.0
検体保管をして日勤帯で実施	17	68.0
その他	3	12.0

## 6-5. 交差適合試験

---

	施設数	%
実施	61	89.7
未実施	7	10.3

## 6-5-1・2. 交差適合試験の検査実施

	日勤帯		夜間・日直帯	
	施設数	%	施設数	%
実施	61	89.7	59	86.8
未実施	0	0	2	2.9
未回答	7	10.3	7	10.3

### 6-5-3. 交差適合試験の主な方法

検査方法	施設数	%
酵素法のみ	1	1.5
間接抗グロブリン法のみ	24	35.3
コンピュータークロスマッチのみ	3	4.4
生理食塩液法＋酵素法＋間接抗グロブリン法	8	11.8
生理食塩液法＋間接抗グロブリン法	17	25.0
酵素法＋間接抗グロブリン法	8	11.8
未回答	7	10.3

## 6-6. 内部精度管理

---

	施設数	%
実施	39	57.4
未実施	23	33.8
未回答	6	8.8

## 6-6-1. ABO血液型・Rh血液型の内部精度管理 (1施設2つ回答)

	施設数	%
全自動輸血検査機器のみ実施	23	33.8
試験管法のみ実施	4	5.8
全試験管法自動輸血検査機器・ 試験管法ともに実施	11	16.2
その他	2	2.9
未実施	23	33.8
未回答	6	8.8

## 6-6-2. 不規則抗体の内部精度管理 (1施設2つ回答)

	施設数	%
全自動輸血検査機器のみ実施	24	35.3
試験管法のみ実施	2	2.9
全試験管法自動輸血検査機器・ 試験管法ともに実施	9	13.2
その他	2	2.9
未実施	25	36.8
未回答	6	8.8

### 6-6-3. 実施頻度 (2施設2つ回答)

---

頻度	施設数	%
毎日実施 (土日祝含む)	5	7.3
平日実施 (土日祝含まない)	18	26.4
週1回	12	17.6
その他	6	8.8
未実施	23	33.8
未回答	6	8.8

# 内部精度管理について

---

- ・各試薬メーカーから販売されている精度管理用試薬を使用して検査を行う。
- ・上記がないようならば、
  - 血液型検査は、抗A・抗B血清とA1・B血球を用いてそれぞれの結果を確認する
  - 不規則抗体検査は、希釈した抗D血清など(既知血清)を用い、抗原表と照らし合わせ反応を確認する。

その他詳細な精度管理の内容に関しては、日本輸血・細胞治療学会や輸血検査教本などに記載されているので参照してください。

# アンケート調査報告

## 7-1-1. 施設の規模

施設	施設数	%
500床以上の病院	12	17.6
200～499床の病院	21	30.9
1～199床の病院	23	33.8
検査センター	2	2.9
その他	1	1.5
未回答	9	13.2

## 7-1-2. 業務形態

---

業務形態	施設数	%
日勤帯のみの業務	4	5.9
夜間・日直帯の業務もあり	43	63.2
オンコール体制	12	17.6
未回答	9	13.2

訂正 報告書では、未回答が 誤 3施設 ⇒ 正 9施設でした。

### 7-1-3. 輸血認定技師の有無

---

認定検査技師	施設数	%
いる	19	27.9
いない	40	58.8
未回答	9	13.2

7-1-4. 「いる」と回答した施設のみ  
輸血認定技師の業務従事（19施設）

---

業務従事	施設数	%
専従として従事	8	42.1
兼務として従事	11	57.9

## 7-2-1・2. 輸血業務は主にどの職種が検査に従事

検査実施者	日勤帯		夜間・日直帯	
	施設数	%	施設数	%
輸血検査専任技師	12	17.6	1	1.5
兼務の技師	47	69.1	56	82.4
未実施	0	0	1	1.5
未回答	9	13.2	10	14.7

### 7-2-3. 輸血管管理料 I の取得

---

取得	施設数	%
はい	17	25.0
いいえ	39	57.4
未回答	12	17.6

## 7-2-4. 輸血管管理料Ⅱの取得

---

取得	施設数	%
はい	29	42.6
いいえ	26	38.2
未回答	13	19.1

## 7-2-5. 輸血適正管理加算の取得

---

取得	施設数	%
はい	31	45.6
いいえ	23	33.8
未回答	14	20.6

## 7-2-6. 自己抗体の解離方法

---

解離方法	施設数	%
DT解離	9	13.2
酸解離	19	27.9
エーテル解離	1	1.5
その他	2	2.9
未実施	24	35.3
未回答	13	19.1

## 7-2-7. 輸血検査後の検体保管期間 最も近い日数

保管日数	施設数	%
3日程度	1	1.5
7日間	9	13.2
14日間	7	10.3
15日以上	41	60.3
保管していない	1	1.5
未回答	9	13.2

## 7-2-8. 輸血検査後の検体保管の仕方

---

保管方法	施設数	%
血清検体を冷蔵保管	9	13.2
血漿検体を冷蔵保管	22	32.4
しばらく冷蔵庫保存後冷凍保管	22	32.4
その他	5	7.4
未回答	10	14.7

7-2-9. 輸血後感染症検査について病院としてどのような方針（実施率・達成度は問いません）

病院方針	施設数	%
輸血事例全例実施する方針で動いている	40	58.8
症例に応じて実施する方針で動いている （診療科別等）	2	2.9
すべて医師の裁量に任せている	13	19.1
その他	2	2.9
未回答	11	16.2

## 7-2-10. 輸血後感染症検査の実施率

実施率	施設数	%
0～20%	9	13.2
21～40%	12	17.6
41～60%	10	14.7
61～80%	12	17.6
81～100%	6	8.8
把握していない	6	8.8
輸血未実施	1	1.5
未回答	12	17.6

## 7-2-11. 頻回輸血の患者は定期的に検体保存

---

検体保存	施設数	%
している	38	55.9
していない	19	27.9
輸血未実施	1	1.5
未回答	10	14.7

7-2-12-1. 「している」と回答した施設のみ (38施設)  
院内マニュアルで検体保管をするように取り決め

---

	施設数	%
はい	29	76.3
いいえ	9	23.7

7-2-12-2. 「している」と回答した施設のみ(38施設)  
おおよそどのくらいの間隔で検体保管

---

間隔	施設数	%
3ヶ月に1回程度	16	42.1
6ヶ月に1回程度	2	5.3
医師に任せている	3	7.9
その他	14	36.8
未回答	3	7.9

## 7-2-13. 輸血機能評価認定制度 (I&A) の受審

	施設数	%
すでに受審済み	10	14.7
受審する意思がある	11	16.2
受審する意思はない	31	45.6
その他	3	4.4
未回答	13	19.1

## 7-2-14. 輸血製剤の適正使用に関する取組み

	施設数	%
輸血療法委員会で協議し不適正と思われる症例について医師に連絡している。	21	30.9
輸血検査室で協議し不適正と思われる症例について医師に連絡している。	9	13.2
個々の医師に任せている。	25	36.8
その他	2	2.9
未回答	11	16.2

# 最後に

---

日本輸血・細胞治療学会 <http://yuketsu.jstmct.or.jp/>

日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

検査方法などが掲載されています。